ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/07/08 号(As of 2024/07/05)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	161.16
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	161.38	1.0811	174.28	1.2755	0.6725
SYD-NY High	161.39	1.0842	174.50	1.2817	0.6753
SYD-NY Low	160.34	1.0796	173.74	1.2755	0.6710
NY 5:00 PM	160.82	1.0835	174.25	1.2814	0.6748

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,375.87	67.87	日本2年債	0.3400%	0.0000%
NASDAQ	18,352.76	164.46	日本10年債	1.0700%	▲0.0100%
S&P	5,567.19	30.17	米国2年債	4.6035%	▲0.1023%
日経平均	40,912.37	▲ 1.28	米国5年債	4.2252%	▲0.0960%
TOPIX	2,884.18	▲ 14.29	米国10年債	4.2774%	▲0.0763%
ｼｶｺﾞ日経先物	41,080.00	375.00	独10年債	2.5305%	▲0.0530%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,203.93	▲ 37.33	英10年債	4.1240%	▲0.0730%
DAX	18,475.45	24.97	豪10年債	4.4090%	▲0.0060%
ﾊﾝｾﾝ指数	17,799.61	▲ 228.67	USDJPY 1M Vol	8.90%	▲0.42%
上海総合	2,949.93	▲ 7.63	USDJPY 3M Vol	9.01%	▲0.35%
NY金	2,397.70	28.30	USDJPY 6M Vol	9.40%	▲0.21%
WTI	83.16	▲ 0.72	USDJPY 1M 25RR	▲0.81%	Yen Call Over
CRB指数	293.43	▲ 0.59	EURJPY 3M Vol	8.52%	▲0.31%
ドルインデックス	104.88	▲ 0.25	EURJPY 6M Vol	8.94%	▲0.18%

【昨日の指標等】

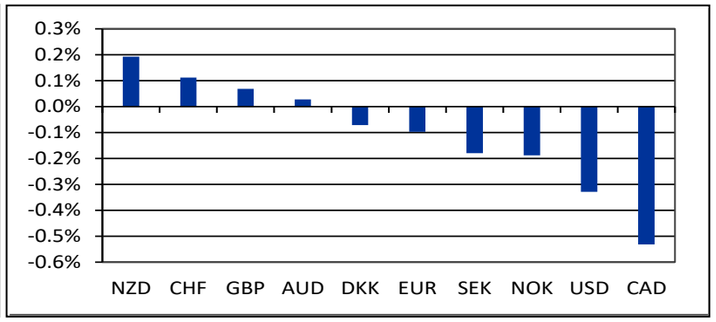
Date	Time		Event		結果	予想
7月5日	18:00	欧	小売売上高(前月比)	5月	0.1%	0.2%
	18:40	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演		FRBは仕事を成し遂げることにコミット	
	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	6月	206k	190k
	21:30	米	失業率	6月	4.1%	4.0%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	6月	0.3%/3.9%	0.3%/3.9%

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
7月8日	08:30	日	毎月勤労統計 現金給与総額(前年比)	5月	2.1%	2.1%
	08:30	日	実質賃金総額(前年比)	5月	-1.2%	-0.7%
	08:50	日	国際収支:経常収支	5月	¥2350.2b	¥2050.5b
	08:50	日	貿易収支	5月	-¥1186.7b	-¥661.5b
7月9日	01:15	英	ハスケルBOE委員 講演	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	160.20-161.50	1.0760-1.0870	173.20-175.00

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は161.38ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。仲値にかけては5･10日に伴う実需のﾄﾞﾙ売りもあってか軟調に推移。その後も海外時間に米雇用統計の発表を控える中で持ち高調整のﾄﾞﾙ売りが入ったとみられ、午後には160.53まで下落。一巡後は160.70近辺で方向感なく推移し、結局160.63ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、160.63ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。午後に米雇用統計を控えて方向感なく推移し、結局160.83でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は161円台前半でｽﾀｰﾄ。ｱｼﾞｱ株の軟調な展開や、注目の米6月雇用統計の結果発表を控えたﾎﾟｼﾞｼｮﾝ調整の売りから、ﾄﾞﾙ円はじり安で推移し、160.83でNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された米6月雇用統計では、非農業部門雇用者数変化指数は予想を上回ったものの、前回分の結果が後方修正された他、失業率も予想より悪化する等冴えない内容となる。この結果を受け、米労働市場が減速している思惑から、市場はﾄﾞﾙ売りで反応し、160.34まで売られる。売り一巡後は押し目買いが入り、161.32まで反発する場面もあったが、それ以上の上値追いは限定的で、その後160.60付近まで再度下落する等神経質な値動きとなる。午後は週末を控え値幅が限定的の中、160.80付近を挟んだ狭い値動きが続き、160.82でｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.08台前半でｽﾀｰﾄ。米6月雇用統計の結果発表待ち姿勢から、1.0820付近を中心とした狭いﾚﾝｼﾞ推移が続き、1.0819でNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は予想より弱い米6月雇用統計の結果を受け、発表直後は1.0796と1.0842の間を乱高下し、その後は1.0820付近を挟んだﾚﾝｼﾞ推移が続く。午後は米金利が低下する動きが支えとなり、終盤にかけては高値の1.0842まで戻し、その後1.0835でｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円はやや水準を切り下げる展開となった。米国時間に注目されていた米6月雇用統計の結果が弱めの結果となり一時160.34まで下落したが、売り一巡後は押し目買いとなり161円台前半まで値を戻した。その後、再び160円台後半まで下落しクローズ。
本日のドル円は底堅い展開を予想する。先週末に発表された米6月雇用統計の結果はやや冴えない結果となり一時的には下落したものの、押し目買いにより160円台後半を維持しており、ドル買い円売りの相場を転換するまでには至らなかった。円を買う材料も特段見当たらない状況下では、再び161円台を目指す展開になる可能性が高そうだ。なお、本日は特段の材料となる経済指標の発表は予定されておらず、値幅は限定的となりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:南野・范